

次世代サービスステーションのコンセプトモデル店「創エネSS」がオープン！ ～太陽エネルギーを最大限活用した近未来型のサービスステーション～

記者各位

当社(社長:西尾進路)は、本日、愛知県豊明市に、太陽エネルギーを最大限に活用する近未来型のサービスステーション「創エネSS(サービスステーション)」(店舗名:Dr.Driveセルフ豊明栄店、運営:株式会社ENEOSフロンティア)をオープンしましたので、お知らせいたします。

「創エネSS」は「翼」をイメージさせるキャンピーデザインと太陽光発電モジュールが持つ先進性を調和させることにより、ENEOSサービスステーションと新エネルギーの未来を表現した「次世代サービスステーションのコンセプトモデル」です。キャンピー(給油エリアにおける雨よけのための屋根)は光透過型を含む太陽光発電モジュールと一体化した構造とし、サービスルームの屋根には太陽光発電と太陽熱空調をハイブリッド化した「ルーフィングシステム※1」を設置しております。

太陽光発電で得られた電力は、サービスステーションで使用する電力の一部を賄うとともに、電気自動車への給電にも利用いたします。また、光透過型太陽光発電モジュールを計量機上部に配置したことによる照明用電力量の削減と、太陽熱空調によるサービスルーム内の暖房も行うことで、消費電力を約12%削減※2し、年間約14トンのCO2排出量削減※3が可能となります。

同時に、このキャンピーにより、建築物との一体化構造による太陽光発電モジュールの建材としての可能性も提案するなど、「創エネSS」は「新しい太陽光発電システムのショールーム」としても活用してまいります。

当社は、総合エネルギー企業として、電気自動車や水素で走る燃料電池車などの次世代自動車に対応したサービスステーションの開発や、輸送用、家庭・業務用および産業用のあらゆる分野における新エネルギーへの取り組みを通じ、低炭素社会の実現に貢献してまいります。

※1 ルーフィングシステム

太陽エネルギーにより暖められた太陽光発電モジュールの熱を室内に取り込み、発電だけでなく暖房も行えるハイブリッドなシステム。横浜市にある「ENEOS創エネハウス」にも設置。2009年度グッドデザイン賞受賞。

※2 創エネSSとほぼ同規模SSの消費電力を参考に算出。推定消費電力:160,000kWh/年、太陽光発電システム想定発電量:19,700kWh/年。

※3 発電電力のCO2原単位を火力電源係数0.69kg-CO2/kWhとして算出。
平均的な家庭における太陽光発電システム導入によるCO2削減量の約6軒分に相当。

【Dr.Driveセルフ豊明栄店の概要】

- ① 所在地 : 愛知県豊明市梶田15-1他
- ② 敷地面積 : 2,524㎡(764坪)
- ③ サービス形態 : セルフサービス同時8台給油、電気自動車充電器2基(单相200V)
- ④ 発電容量 : 19.7kW

